

エルサレムを照らす満月 2007年9月28日 アシェル・イントレーター

イスラエルの人々は、ここ二晩、バルコニーや庭に建てたスカ(仮庵)の中で座り、食事を分かち合いながら仮庵の祭りの始まりを祝っています。太陽が西に沈むにつれ、美しい満月が東から昇り、夕べの空を照らしました。外は室温より1~2度低く、最高に快適でさわやかな空気でした。

ユダヤ暦は、太陰暦に基づいています。各月の初日には、ほとんど肉眼では見えない新月が昇ります。そして月の14、15日目には満月が現れます。聖書暦の一年は、初春に始まります。最初の芽が出る頃(4月)に第一月が、そして収穫の季節の終わりに第七月(9月-10月)がやってきます。

晩餐が分かち合われる最善の時は、第一月の満月と第七月の満月です。この晩餐こそ、聖書が命じている二つの主要な聖日の食事、過越し祭と仮庵の祭りです。その一か月前であれば早すぎるし、一か月後であれば遅すぎるのです。これらの二つの日に、農耕の時期、天候状況、そして月のかたち、すべてが完全に一致します。

キリスト教界の聖日は太陽暦に基づいており、ユダヤ教界の聖日は太陰暦に基づいています。神は、ご計画の中でその両方を結び合わされました。祭りには、出エジプト、福音書、そしてこれから起こる終末の出来事に関する霊的重要性の段階もあります。神は、地上と天上のどちらとも、これらのすべての要素をご自身の偉大なご計画に組み込んでおられます。

「祭り」を表現するために使われるモエドという聖書の言葉には、「定められた出会うの時」という意味があります。この語根は、アモス書3章3節に見られるものと同じです。「ふたりの者は、仲がよくないのに、(定められた出会うの時に)いっしょに歩くだらうか。」(訳注:「仲がよくないのに」は、英語では「同意(agree)しないのに」と表現されている。)神は、あらかじめ決めておられたご計画のために万事を合い働かせておられます。神のご計画は、イエシュア(イエス)のうちに成就され、聖書の御言葉に書き記され、聖霊によって明らかにされ、イスラエルの祭りに象徴させておられます。さらには、月、太陽、そして自然の循環様式にさえ調和させておられています。

この仮庵の祭りの期間の祈禱課題: 以下の事柄に関して多くの議論と霊的戦いがあります。

1. ニューエイジの祭りでのメシアニック・アウトリーチ
2. 祭りを祝うメシアニック・コングリゲーション
3. クリスマン・エンバシーが主催する仮庵の祭りのセレブレーションにメシアニック信者が参加(日曜日にアシェル師が講演します)

アフマディネジャドの米国及び国連訪問

米国においてイランの大統領アフマディネジャドが演説をした時、多くの人々が彼の話しぶりや口調に驚きました。わたしの見解で言えば、彼はイスラム教の宣教をするために来ました。彼は、自分自身をイスラム教の預言者として、さらには潜在的なイスラム教徒のメシア、アル・マフディとしてさえ見えています。これは、ビリー・グラハムがイランの国会に来て説教をするようなものでした。アフマディネジャドは、アメリカの人々をイスラム教に改宗させたいのです。

ヨハネの黙示録 13:11 は、小羊のように姿を現すが、竜のように語るものが地から上って来ることについて述べています。コリント人への手紙第二 11:14 とマタイの福音書 7:15 では、偽預言者達が穏やかな姿でやって来ることについて語られています。もしも誰かが真の小羊(イエシュア)を知るなら、その人は偽りの小羊によって惑わされることはありません。しかし、真実な方を知らない者は、だまされやすいのです。

ウディ・ゴールドヴァッサー(ハマスまたはヒズボラによって拉致された3名のイスラエル人兵士の一人)の妻、カルニット・ゴールドヴァッサーは、ニューヨークで行われた記者会見で、報道記者として発言してアフマディネジャドに立ち向かいました。彼女は、イスラム教徒である誘拐者達が、赤十字による拉致された人質への基本的な人道主義的保護や、彼らとの面会を許可することを拒否したことについて彼に問いました。

イスラムのジハード(訳注:イスラム過激派が掲げる聖戦)の霊が分裂させられ滅ぼされるようにお祈りください。また、アフマディネジャドの訪問が裏目に出て、人々がイエシュアにある真の信仰を探し求めるようになりますようにお祈りください。

シニアソンは神である

偽メシアといえば、ルバビッチ派のムーブメントが、イスラエル最大のヘブライ語新聞紙、イェディオットに広告を載せました。広告には、彼らのラビ・シニアソンが、まさにメシアであるだけでなく、彼は神でもあると記載されていたのです！彼が神であるだけでなく、彼に祈ることが許されているのだと。(テサロニケ人への手紙第二 2:4 は、「自分こそ神であると宣言」する反キリストのことを言及しています。)私は、自分の目を疑ってその広告をもう一度読み直してしまったほど、その書かれている内容が信じられませんでした。

約2年前、イスラエルでメシアニック指導者たちによる神学に関する協議会がありました。そこでは、イエシュアを「神」と呼ぶべきかどうか、また彼に祈るべきか、あるいは父なる神だけに祈るべきかが話し合われました。(90%の指導者がイエシュアの完全な神性を肯定しました。)ルバビッチ

派のムーブメントが、彼らのラビは神だ、とそんな大胆な声明を出したことにより、ユダヤ教のラビの対談による討論会に神なるメシアの見解がもたらされたおかげで、わたしたちの問題が解決されたようです。

真のメシアの啓示に備えて、正統派ユダヤ人の心を神が整えて下さるようにお祈りください。